

3 避難について

避難情報

災害の危険が迫った際は、札幌市から対象の地域に避難を呼びかけます。
避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難してください。

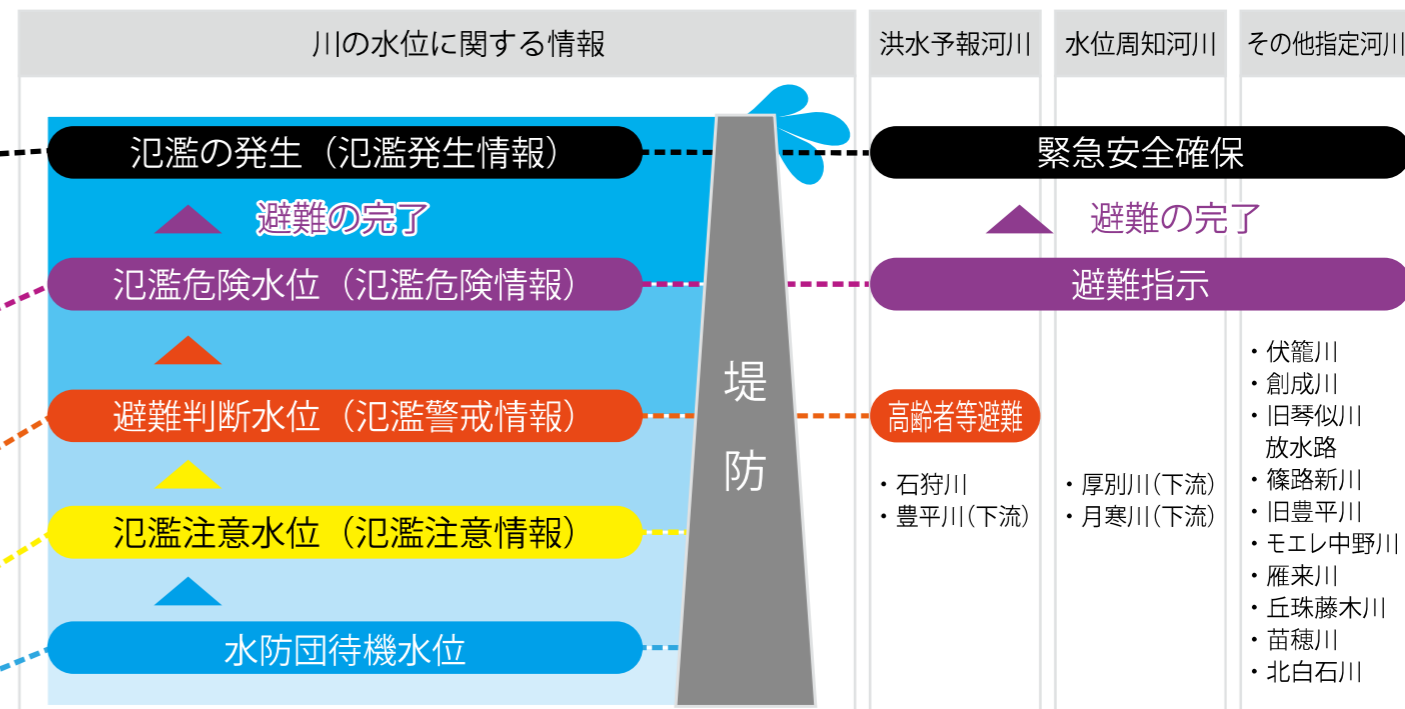
警戒レベル	避難情報等	住民が取るべき行動
5	緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保!	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに安全な避難ができず命が危険な状況。直ちに身の安全を確保。 ●必ず発令されるわけではないため、発令を待たない。

避難指示（警戒レベル4）までに必ず避難!!

4	避難指示 危険な場所から 全員避難	<ul style="list-style-type: none"> ●指定緊急避難場所 (P21を確認) や親戚・知人宅などの安全な場所に全員避難。
3	高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等は避難	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がいのある方は、できるだけ早めに避難。 ●その他の方も必要に応じて避難の準備。
2	大雨・洪水注意報 自らの避難行動を確認	
1	早期注意情報 災害への心構えを高める	

川の水位に関する情報

川の水位に関する情報を参考に、指定緊急避難場所の開設状況をご確認の上、自主的な避難も検討してください。
 なお、川の水位情報が発表されたことに伴い、必ず避難指示などが発令されるわけではありません。



※洪水予報河川：流域面積の大きい川で洪水により重大な損害を生ずるおそれがある川（洪水予報を発表する川）
 ※水位周知河川：洪水予報河川以外で洪水により重大な損害を生ずるおそれのある川 ※東区に、浸水が想定される区域がある川のみ掲載

避難の方法を事前に確認

自宅などの危険度を避難地図（P3～P16）で把握し、**避難の方法**を確認しましょう。安全な場所にいる方は、在宅避難を検討してください。（P22 **わが家の防災メモ** で確認できます。）

▶自宅が安全な場合は在宅避難

次の3つを満たす場合は在宅避難を検討してください。

- 1) 浸水の深さより居室が高い。
- 2) 家屋倒壊等氾濫想定区域（ 氾濫流 河岸侵食）に入っていない。
- 3) 土砂災害警戒区域（）に入っていない。

◎最低3日分の食料品・飲料水やランタン、乾電池などの備蓄品を用意しましょう。



▶安全な地域の親戚・知人宅へ避難

緊急時に避難してよいか事前に相談しておきましょう。安全な地域に住んでいる方は、受け入れの検討をお願いします。



▶安全が確保できないときは指定緊急避難場所へ避難

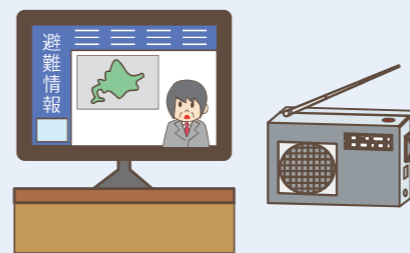
危険な地域にいて難を逃れる手段がない方は、ためらわずに指定緊急避難場所 へ避難してください。避難所の開設状況は、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認できます。（P18、P23を確認）



情報を知る手段

川の水位や気象、土砂災害、避難などに関する情報は、テレビやラジオ、インターネットで確認できます。

▶テレビ・ラジオ



▶インターネット

さっぽろ防災ポータル

札幌市防災アプリ そなえ

札幌市危機管理局 Twitter

→P23を確認

札幌市 ホームページ

札幌市からの避難情報は緊急速報メールでもお知らせします

緊急速報メールには文字数制限があるため、避難区域の概要のみをお知らせします。
 該当区域の方は、テレビ、ラジオ、市のホームページなどで詳細な住所を確認してください。

▶洪水・土砂災害
 「住所」、「町名」、「連合町内会」のいずれかで表示

避難情報発令区域の詳細、避難所開設状況は、札幌市ホームページ、さっぽろ防災ポータル、札幌市防災アプリ そなえ で確認できます。

緊急速報メールの受信設定や対応機種については、各携帯電話会社へご確認ください。



↑洪水時の例（町名表示）

↑土砂災害時の例（町名表示）